

梅 檀

平成 25 年 2 月

N O , 1 2 2

護 国 寺

法華經の行者の、

祈の叶はぬ事はあるべからず。

昔から、日蓮宗の特徴（宗風）は明ると言われています。それは常に前向きで、この世の中を浄土にするところこそが信条ですから、少々の苦難にも負けず不平不満は言わないからだそうです。文頭の言葉は日蓮大聖人の『祈祷抄』のお言葉ですが、人は口からプラスのこと、マインスのことも言うものです。だから「吐」という字は「口」と「十」という字で出来ています。人がマインスのことを言わなくなると「」が消えて、「叶」という字になるように、法華經を信仰している人こそ、祈りは叶うものであると確信しております。

今月の4日（月）の午後1時から、護国寺で**大祈祷会**が執り行われます。一心に祈りを捧げてみませんか。必ず仏さまは慈悲の御手を差し伸べて下さいます。檀信徒の皆様におかれましては、家族そろってお参り下さいますよう、ご案内申し上げます。

日頭 拝

吐

口からマイナスな事を吐かなければ
夢は叶う

寒行のご報告！

先月の1月20日、暦のうえでは、一年で一番寒いと言われる**大寒**の日。毎年恒例となりました**寒行**を執り行いました！

今年は総代さまを筆頭に7人の有志が集まり、同じ山科の大立寺まで唱題行脚を行い、山科の町にお題目の音声を響かせました。

この寒行の唱題行脚はとても大事な修行です。なぜなら、お題目を唱えながら街を歩くことで、たくさんの人々に「**南無妙法蓮華經**」のお題目の音声を届けることができます。これは、仏教で一番大事な、仏さまとの縁を結ばせる大事な行いであり、それと同時に、法華經お題目を広める事となり、これほどのありがたいことは他にありません！時には、このお題目の声と太鼓の勇ましい音が、「うるさいな・・・」「耳障りだ・・・」

と思われることも多々あると思います。しかし今のこの世は**末法**の時代！仏さまの名前さえも知らず、縁を結ばないまま、生まれては死んで死んで生まれるの繰り返しの人々が大多数を占めます！

そんな時、この唱題行脚は町を歩く多くの人にお題目の声を届け、仏法と縁を結ばせることが出来ます！これを難しい言葉で「**毒鼓の縁**」といいます。いつの日か、このお題目の音声を聞いた人々が縁を結び、佛種を断ぜず、正法流布の地涌の菩薩となることを祈るばかりです！

最後になりましたが、寒い日にもかかわらず、この寒行にご参加くださいました篤信の檀信徒の皆様、厚く御礼申し上げます。平成25年度の寒行のご報告といたします。



Ｑ お札の種類と、お祀りの仕方を教えてください。

毎年、お正月の年始参りの際、お渡ししているお札は、玄関にお祀りして下されば結構です。のように玄関の門戸の上、もしくは靴棚にご安置ください。

家に災厄が入ってくるのをお護りします。(仏壇の中でもかまいません)

二月四日の大祈禱会でお渡しする、烏枢沙摩明王札(赤札)はトイレにお祀りします。三宝荒神札(緑札)は台所にお祀りします。のように押しピンを使用する際は、お札を傷つけないよう安置します。赤札はトイレの入り口。緑札は台所の戸棚の上、もしくはタイルに安置して下さい。

最後に、大祈禱会でお申し込み頂いた、いちねんきとうふだ(一年祈禱札(木札))は、仏壇の中に安置する際は、御本尊の前には置かないように注意して下さい。仏壇に置けない場合は、のように床の間に札場を設けてお祀り下さい。



寄進！

総門改修の一助としてご寄進して頂きました。
除夜の鐘の設備としてご寄進して頂きました。

上田利彦様 十万円
村田周二様 五万円

佐藤弘明様 投光器

ご案内！

降誕会 (日蓮聖人門下連合会 主催)

日時・二月十六日(土)

場所・大本山 本圀寺

時間・14時半より法話・その後法要

本年は、日蓮大聖人の御降誕791年を迎えます。

日蓮聖人門下連合会主催の法要です。



2月の予定 大祈禱会

4日(月)
午後1:00より

檀信徒以外でもお参りできます♪
ご家族・友人をお誘い合わせの上、
ご一緒にお参り下さい！

寺宝

『古欄裏菊紋七條袈裟』公開！



当日は塔婆を建立致しません。